

## 研究計画概要

助成年度・種別	2016年度 若手研究助成
研究者	大山智也
所属	筑波大学大学院
研究テーマ	日本における地理的犯罪予測手法の開発
研究計画概要	<p>犯罪の時間的・空間的集積性に着目し、ある場所における将来時点の犯罪発生リスクを予測する「地理的犯罪予測」手法についての研究が、近年、欧米を中心にさかんに行われ、また、それに基づいて開発されたいくつかのシステムは、既に現地での警察実務に取り入れられている。こうした予測手法は、人口減少と警察官の大量退職期に直面しているわが国においても、限られた人的資源の最適配置を考える上で有用と考えられるが、これをとりあげた学術的な研究は、国内では見られない。</p> <p>本研究は、欧米とは犯罪情勢が著しく異なるわが国においても、高い精度をもたらす地理的犯罪予測手法を確立することを目的とする。そのために、①欧米で研究されてきた既存の予測手法について整理と評価を行う。②既存手法を国内の犯罪発生データに適用し、予測が成立しうる罪種と、その時空間的範囲を検討しつつ、有効なモデルや変数を探る。③他分野における予測研究の知見も取り入れながら、異なる時空間的範囲ごとに、日本において最適な予測手法を提案する。④考案した予測手法について、学会等を通じて公表しつつ、自治体に試用を働きかけ、実用性の向上、実際の犯罪予防活動との連携を図る。</p>
選考委員からのコメント	<p>日本における犯罪の時空間的な集積傾向は窃盗の被害対象の所在に影響されがちであるが、欧米諸国における先行研究の知見を踏まえつつ、犯罪者に関するファクターや場所の時空間的な特性を加味した予測手法の開発を期待する。</p>